

# 防災安全部

## (1) 防災安全部予算のポイント

### ◆予算編成にあたっての背景・課題

- 東日本大震災から7年が経過しますが、2016年度には熊本地震、鳥取中部地震による大きな被害が発生しました。風水害についても、2017年10月に台風第21号の接近に伴い、町田市内でも被害が想定されたため、避難勧告の発令を行いました。  
また、2001年に施行された土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定が始まり、2018年度も引き続き指定が進められる予定です。  
こうした状況の中、防災に対する市民からの関心が高くなっていることもあり、一層の市の防災・災害対策が求められています。
- 2013年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、地域防災を担う消防団、自主防災組織に大きな期待が寄せられています。  
こうした状況の中、市は地域防災力の中核を担う消防団の装備強化、組織力の充実を図るとともに、自主防災組織のリーダー育成支援を行い、地域における防災体制の強化を引き続き進めていく必要があります。
- 地域の防犯対策の強化や犯罪抑止・体感治安の改善など、市民生活の安全安心を守るための取組が求められています。
- 道路交通環境の変化に伴い、自転車の正しい乗り方など、誰もが交通ルールを守るよう、交通安全に対する意識の向上と推進が必要です。特に高齢者や子どもの交通安全の確保と交通事故の抑止が求められています。

### ◆予算編成の考え方

- 「町田市5ヵ年計画17-21」の基本政策である、「安全に生活できるまちをつくる」ため、自主防災リーダーのフォローアップ講習会を実施し、地域の自主的な防災活動の更なる充実を図ります。
- 災害に強いまちづくりを進めるため、防災行政無線や消防施設の整備を行います。なお、老朽化が進んでいる消防施設や消防車両については、建て替えや更新を行います。
- 「町田市5ヵ年計画17-21」の基本政策である、「安全に生活できるまちをつくる」ため、市民生活の安全を守るとともに迷惑行為の防止を図るため、協働パトロール等の防犯対策を推進します。
- 防犯カメラの設置や民間交番運営委託などを通して、安全・安心なまちづくりを推進します。
- 市民の交通安全意識の高揚と交通事故の減少を図るため、警察等と協力し、自転車教室を始めとする各種交通安全教室や、街頭や地域イベント等における周知・啓発を行います。

## ◆予算編成で重視した取組

- 1 消防団の装備強化への対応
  - (1) 消防器具置場(3分団10部)建替えのための測量・設計・地盤調査  
(消防施設費 防災課 134ページ)
  - (2) 消防車両の更新(2台) (消防施設費 防災課 134ページ)
  
- 2 2019年度の町田市地域防災計画修正に向けた対応  
新たに、地域特性に応じた、避難施設別の避難者推計を行います。  
(災害対策費 防災課 135ページ)
  
- 3 町田市5ヵ年計画17-21 重点事業  
「地域の防災リーダーの育成」のために以下の事業を行います。
  - (1) 自主防災組織リーダーフォローアップ講習会の実施  
(災害対策費 防災課 135ページ)
  
- 4 町田市5ヵ年計画17-21 重点事業  
「防犯対策の推進」のために以下の事業を行います。
  - (1) 協働パトロール隊の推進 (安全対策費 市民生活安全課 132ページ)
  
- 5 地域における見守り活動を支援するため、町内会・自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部について補助等を行います。
  - (1) 防犯カメラ設置にかかる整備費補助 (安全対策費 市民生活安全課 132ページ)
  
- 6 町田駅周辺を中心市街地にかかる体感治安向上のため、防犯及び案内機能を拡充した民間交番を通年開設します。
  - (1) 民間交番運營業務委託 (安全対策費 市民生活安全課 132ページ)

## (2) 2018年度 防災安全部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	2018年度	2017年度	比較	事業名
2	総務費				
1	総務管理費				
	19 安全対策費	40,519	14,046	26,473	安全対策費
3	民生費				
5	災害救助費				
	1 災害救助費	180	180	0	災害救助費
9	消防費				
1	消防費				
	1 防災対策費	4,831,569	5,130,302	△ 298,733	消防団運営費 消防施設費 災害対策費 常備消防費
	合計	4,872,268	5,144,528	△ 272,260	

※職員人件費は除いています。

防災安全部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2018年度	4,872,268	0	1,472,872	225,000	6,934	3,167,462
2017年度	5,144,528	184,473	1,170,147	292,200	165	3,497,543
比較	△ 272,260	△ 184,473	302,725	△ 67,200	6,769	△ 330,081

(3) 事業別支出科目一覽

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
2	1	19	安全対策費		40,519
			02 安全対策費	市民生活安全課	40,519
			交通安全推進協議会委員報酬		357
			委員謝礼		365
			講師謝礼		50
			普通旅費		34
			消耗品費		2,360
			印刷製本費		197
			施設修繕料		1
			事業・業務委託料		10,800
			研修・講座等委託料		2,611
			収集・処分等委託料		1
			改修工事費		1,800
			町田市交通安全協会補助金		6,851
			特別会員交通災害共済費負担金		109
			防犯協会補助金		887
			防犯設備整備費補助金		14,096
3	5	1	災害救助費		180
			01 災害救助費	防災課	180
			罹災者見舞金		180
9	1	1	防災対策費		4,831,569
			02 消防団運営費	防災課	119,149
			団員報酬		65,147
			事業協力謝礼		5,007
			費用弁償		8,553
			交際費		150
			消耗品費		11,415
			食糧費		30
			印刷製本費		1,366
			証明手数料		3
			警備委託料		29
			収集・処分等委託料		310
			設営委託料		700
			自動車借上料		240
			研修負担金		11
			協議会等負担金		566
			特別会員交通災害共済費負担金		231
			消防団員福祉共済負担金		1,800
			消防団研修負担金		646
			消防団交付金		5,992
			損害補償・退職報償負担金		16,953
			03 消防施設費	防災課	176,729
			消耗品費		1,040
			燃料費		830
			光熱水費		3,348
			施設修繕料		942
			備品修繕料		5,077
			リサイクル手数料		26
			自動車保険料		847

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			事業・業務委託料		303
			機器等保守点検委託料		26
			測量委託料		900
			設計委託料		3,100
			調査等委託料		2,100
			収集・処分等委託料		5
			剪定・除草委託料		1,746
			用地借上料		2,184
			自動体外式除細動器借上料		681
			撤去工事費		4,300
			備品等購入費		1,536
			車両購入費		34,000
			研修負担金		75
			消火栓維持管理負担金		25,633
			消火栓設置負担金		87,053
			廃棄物処分負担金		18
			自動車重量税		959
			<b>04 災害対策費</b>	<b>防災課</b>	<b>273,196</b>
			防災会議委員報酬		242
			事業協力謝礼		898
			普通旅費		204
			特別旅費		42
			消耗品費		3,039
			災害時用備蓄資材・食糧等購入費		59,846
			燃料費		170
			光熱水費		1,370
			施設修繕料		499
			備品修繕料		4,248
			賄材料費		14
			電話料		4,441
			インターネット通信費		227
			専用回線等通信費		1,641
			申請手数料		6
			自動車保険料		142
			傷害保険料		41
			事業・業務委託料		8,782
			事務処理等委託料		174
			計画策定委託料		4,624
			研修・講座等委託料		1,159
			指導委託料		1,556
			機器等保守点検委託料		10,129
			工事監理委託料		7,656
			警備委託料		57
			作成委託料		4,108
			設営委託料		3,344
			検査委託料		791
			整備工事費		128,038
			設置工事費		8,440
			備品等購入費		1,225
			研修負担金		93

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			自主防災組織補助金		15,370
			町田防火防災協会補助金		200
			防災行政無線電波利用負担金		348
			自動車重量税		32
		05	常備消防費	防災課	4,262,495
			常備消防都委託料		4,262,495

## (4) 事業の説明

一般会計

一般会計		款 2	項 1	目 19	安全対策費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2018年度	40,519	0	8,590	0	2,159	29,770
2017年度	14,046	0	119	0	0	13,927

### 2 安全対策費

40,519 千円

担当 市民生活安全課

予算書 78 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	8,590	0	2,159	29,770

#### ○事業の内容

市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯活動の支援や啓発活動などを行います。また、市民の交通安全意識を高め、交通事故を防止するため、交通安全教育や交通安全啓発活動などを行います。

#### ○2018年度の取り組み

官民協働パトロールや防犯啓発活動を行い、犯罪抑止と体感治安の改善を目指します。地域防犯パトロール隊の支援や地域防犯リーダー育成などを通して、安全・安心なまちづくりを推進するとともに、町田駅周辺の中心市街地にかかる体感治安向上のため、防犯及び案内機能を拡充した民間交番を7月から開設します。

交通事故の減少と運転マナーの向上を図るため、市内の小・中学生を対象とした自転車教室や、高齢運転者を対象とした安全運転教室などの各種交通安全教室を行います。また、警察、交通安全協会等の関係機関と協力して、街頭や地域イベント等において交通安全の周知・啓発を行います。

主な事業費	事業・業務委託料(民間交番運営)	10,800千円
	防犯設備整備費補助金(防犯カメラ設置補助金)	14,096千円
	研修・講座等委託料	2,611千円
	(中学生交通安全講習)	1,890千円)
	(高齢者等交通安全講習)	721千円)



＜官民協働パトロール拡大版＞  
市・警察の他、商店会・自治会・企業・大学等地域一体で協働パトロールを行っています。



＜中学生を対象とした自転車教室＞  
プロのスタントマンが交通事故を再現し、交通安全の大切さを実感させます。

#### ＜2016年 刑法犯認知件数(町田市)＞

強盗	8	自動車盗	28
粗暴犯	200	バイク盗	154
侵入盗	197	自転車盗	714
ひったくり	21	その他	2,021
特殊詐欺	60	合計	3,403

#### ＜交通安全教室実施予定回数＞

・小学生自転車教室	約40回
・中学生自転車教室	7回
・高齢運転者等安全運転教室	9回
・町田市民交通安全フェスティバル	1回
・町田市春の交通安全教室	1回

特定財源	防犯設備整備費補助金(都 7/12)	8,590千円
	まちだ未来づくり基金繰入金	2,159千円

一般会計		款 3	項 5	目 1	災害救助費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2018年度	180	0	0	0	0	180
2017年度	180	0	0	0	0	180

**1 災害救助費** 180 千円

担当 防災課 予算書 105 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	180

○事業の内容

災害により被害を受けた町田市に住所を有する被災者またはその遺族に対して、見舞金または弔慰金を贈ります。

○2018年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

事業費 罹災者見舞金 180千円

<見舞金支給状況>

	住宅全焼	住宅半焼	床上浸水	弔慰金
2014年度	2件	1件	0件	3件
2015年度	3件	4件	0件	3件
2016年度	3件	1件	0件	0件

関連事業 災害救助費(地域福祉部福祉総務課 218ページ参照)

一般会計		款 9	項 1	目 1	防災対策費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2018年度	4,831,569	0	1,464,282	225,000	4,775	3,137,512
2017年度	5,130,302	184,473	1,170,028	292,200	165	3,483,436

**2 消防団運営費** 119,149 千円

担当 防災課 予算書 132 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	4,932	0	151	114,066

○事業の内容

地域住民の生命、身体及び財産を守ることを使命として活動している町田市消防団の活動を支えるため、消防団活動の環境整備や被服貸与などの管理事務を行います。

団員確保や災害時出動に対する費用弁償、消防技術向上のための訓練・演習の実施などを行います。

○2018年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

主な事業費	団員報酬	65,147 千円
	損害補償・退職報償負担金	16,953 千円
	消耗品費	11,415 千円

特定財源	消防団用防火衣整備費補助金(都1/2)	4,932 千円	<町田市消防団 出初式>
	消防団員福祉共済返戻金及び事務費	151 千円	

<町田市消防団の概要(2017年12月1日現在)>

組織	5分団36個部	団員数	588人
----	---------	-----	------



**3 消防施設費** 176,729 千円

担当 防災課 予算書 132 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	105,000	0	71,729

○事業の内容

消防車両2台の更新を行います。

防火貯水槽などの消防水利、消防団の消防器具置場や消防車両の補修・点検・維持管理を行います。

水道管の耐震化に伴う消火栓の移設や新設、維持補修を行います。

消防器具置場(3分団10部)建替えのための測量・設計・地盤調査を行います。

○2018年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

主な事業費	消火栓設置負担金	87,053 千円
	車両購入費(消防車両)	34,000 千円
	消火栓維持管理負担金	25,633 千円

特定財源	消防施設整備事業債	105,000 千円
------	-----------	------------



<消防車両(ポンプ車)>

4 災害対策費

273,196 千円

担当 防災課

予算書 132 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	120,000	4,624	148,572

○事業の内容

防災行政無線の難聴地域対策として新規屋外拡声子局の設置や機器の改修等により情報の伝達体制の整備・強化を図ります。

災害に備え、町田市総合防災訓練などの訓練の実施、災害用備蓄品の購入などを行います。

「町田市地域防災計画」の見直しに向けて新たに、地域特性に応じた、避難施設別の避難者推計を行います。

○2018年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

主な事業費	整備工事費	128,038 千円
	（防災行政無線再構築	124,344 千円）
	（玉川学園2丁目駐輪場屋外拡声子局撤去	1,361 千円）
	（町一中屋上屋外拡声子局移設	2,333 千円）
	災害時用備蓄資材・食糧等購入費	59,846 千円
	自主防災組織補助金	15,370 千円
特定財源	消防施設整備事業債	120,000 千円
	多摩・島しょ広域連携活動助成金	4,624 千円



<防災行政無線  
屋外拡声子局>

5 常備消防費

4,262,495 千円

担当 防災課

予算書 132 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	1,459,350	0	0	2,803,145

○事業の内容

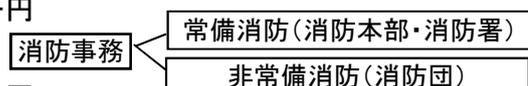
東京消防庁に消防事務(常備消防)を委託します。広域化による効率化や装備・施設の充実等による消防力の強化を目指し、現在、都内の25市3町1村が消防事務(常備消防)を東京消防庁に委託しています。

○2018年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

事業費 常備消防都委託料 4,262,495 千円

特定財源 市町村総合交付金 1,459,350 千円



※消防事務のうち常備消防(消防水利を除く)を委託

<東京消防庁町田消防署の概要>

町田消防署は本町田にある本署と、忠生、南、鶴川、西町田、成瀬の5つの消防出張所からなっています。

ポンプ車11台(化学車1台含む)、救急車7台、はしご車1台、救助工作車1台、指揮隊車1台などを配備しています。



<町田消防署>

